

町政の 今を問う!

一般質問



6議員が12項目の質問を行いました。

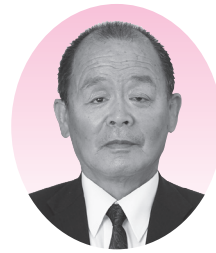


ページ	質問者	質 問 事 項
9	堀 辰雄 議員	・和歌山南陵高校について
9	山本 芳徳 議員	・学校跡地利用について
10	山本 喜平 議員	・風力発電事業者からの寄附は見直しすべき ・白馬山脈奥地への風力発電計画は必要ないのでは ・大阪・関西万博への児童生徒の無料招待はやめるべきでは
11	井藤 満人 議員	・我が町の防災計画は住民に理解されているか ・これ以上の風力発電は我が町の住民を苦しめる
12	原 孝文 議員	・J A県下一本化へ意見を ・学校統合による給食の方式はどう変わるのか ・船津メガソーラー計画への町の認識と姿勢は
13	堀江 才二 議員	・温泉パスポートを作ってはどうか (70才以上の方に) ・寒川地区のヘリポートについて



1 和歌山南陵高校について

新たな学校運営がされることに大いに期待している



堀 辰雄 議員

問 現在の南陵高校について町はどこまで把握しているか。大体2年位前から知り得た情報と対応等について問う。

答 令和4年春、教職員への給料の未払いからストライキに至り、議会からの提言書を受けとり小野理事長に説明を求める文書を送付し、顧問弁護士にも相談した。

その後、学校法人の本部のある静岡県か



南陵高校

ら、経営改善を求める措置命令が出され、8月に小野理事長が退任し、井植理事長となったが解任され関口理事長に替った。令和5年度と6年度の入学試験は行なわれず、令和6年度は3年生18名だけとなった。

令和6年4月に甲斐理事長が就任し、町に
対する滞納は全てなくなり、経営改善に真摯に取り組む姿勢を確認した。
現在、学校環境の改善に向けた施設整備に取り組んでおり、静岡県からの改善命令が解かれ、新たな学校運営がされることに大いに期待している。

1 学校跡地利用について

地域の皆様と共に検討したい



山本 芳徳 議員

問 学校跡地利用は当町にとって重要な行政課題となっている。統合後の事について町の危機感や意識が薄いのではないか。統合と並行して後の事についての説明が無いため、

答 学校跡地利用は地域の不安を煽っているのではない。各地域としての考え方も違うため、地域説明会やアイデア募集など町と住民が一緒に進めて行く体制が重要と考える。学校跡利用はどのように進めるのか、検討委員会を立ち上げ全国の事業者アイデア募集など早期に検討を進めるべきではないか、町の考えを問う。

地域の実情やニーズを



旧寒川第一小学校

踏まえ有効に活用することが求められる。現在閉校となっている美山地区2校については美山支所が中心となり地域の意見を聞きながら進めるよう指示した。検討委員会などを立ち上げ地域の意見を聞きながら進める事が大切と考える。全国の広い視野でアイデアを求める事も理想ではあるが、まずは地域の方がどのように進めたいのか聞き入れるのが第一段階と考える。

1 風力発電事業者からの寄附は見直しすべき

寄附を原資に補助事業を実施し、広報も行っている



山本 喜平 議員

問

町は、コスモエコパワーから地域貢献策として、2021年から20年間、年額300万円の寄附を受けている。広川町、有田川町にも同額の寄附がされている。

答

町は3つの事業で連携し、目的達成のための原資として毎年度300万円の寄附を受けている。家庭用照明LED化、防災用発電機購入への補助事業を実施し、広報も行っている。

①今後、林地開発許可等の意見を求められるが、内容を確認し手続きをしていく。

補助事業を通して町民に再エネへの関心を深め、自然環境への配慮を促すためにやっている。

2 白馬山脈奥地への風力発電計画は必要ないのでは

県の審査会で審査されるもの、現状では反対する理由ない

問

白馬山の西と東に2つの風力発電計画が進められている。前知事意見では、白馬山脈奥地の自然環境を県民の財産として、将来

②補助事業を実施する以前から風力による被害を訴えている人は把握していない。もし被害があるのであれば、補助金とは別の問題となる。それはそれで事業者にも町にも伝えてほしい。

答

事業者は、現地で調査をし、予測評価して重大な環境影響を回避、低減できるような環境保全措置を検討していると思う。

①再エネ推進と違って、貴重な森林を伐採、改変することは脱炭素社会をめざすことに相反するのではないのか。

②2つの風力発電事業の中止を求める要望署名が本町と有田川町の住民はじめ多数集められ、両町の町長と県知事に提出されるが、白馬山脈奥地への風力発電は必要ないと思わないのか。

県の環境影響評価審査会において十分審査するものと思う。

3 大阪・関西万博への児童生徒の無料招待はやめるべきでは

各学校の判断で実施、参加有無も相談しながら連携

問

和歌山県は来年4月開催される大阪・関西万博へ県内の小・中学校と特別支援学校の児童生徒を入場無料で招待する事業を行うと聞いた。

答

②ガス爆発事故が起こったこともあり、会場の安全・安心が確保できるまで招待事業や意向調査を延期すべきではないのか。

①学校行事としての万博参加は、各学校の判断とし、強制しないこと、意向調査で応じないことや、実施段階での取り止めも認めるべきではないのか。

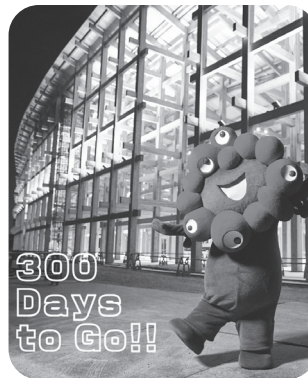
のない範囲で再生可能エネルギーが導入されれば、有限な資源である化石エネルギーとは違い、地球温暖化への抑止、ひいては災害に強い社会の構築にもつながり、恩恵があると思っている。

②2つの風力発電事業の中止を求める要望署名を受け取っている。現状では反対する理由もない。引き続き事業者には、関係する区に丁寧な説明を依頼していく。



井藤 満人 議員

1 これ以上の 風力発電は我が町の 住民を苦しめる 事業者には地域住民に丁寧の説明 するように求める



大阪・関西万博キャラクター

インの説明会が開催される旨、通知があった。①万博に関する校外活動においても、各学校の判断で実施することを先日の校長会において確認した。参加の有無についても相談しながら連携を図っていききたい。

②教育委員会も学校も最も重要な使命は、子どもの命、安全を守ることである。

万博への参加についても、子どもの安全を最優先に考え、今後も情報を収集し、学校と連携を図っていく。

問 ①現在白馬山脈には3カ所の風力発電が稼働しているが、更に3カ所の計画が進んでいる事で住民生活に問題が起きてくるがどの

ように考えているのか。

②この計画で我が町は95基の風車に囲まれる状況に問題意識はないのか。

③新白馬風力計画は統合された早蘇中学校から1kmの場所であり生徒への影響も心配だ。

④今こそ風力発電計画にストップをかけなければ我が町の住民から信頼を得られなくなる事に心動かないのか。

答 現在稼働中の3事業の風力発電について健康被害の報告は受けていない。健康被害が出ないように調査、評価するように事業者に働きかけたい。

早蘇中学校までの距離については記載がなく事業者を確認すれば、早蘇学園団地で景観の調査地点で、1・7kmとの事であるが安心だとは思っていない。環境影響評価におい

て影響がないという評価がなされるのであれば事業者に対し住民に

丁寧の説明するよう引き続き依頼していく。

2 我が町の防災計画 は住民に理解されているか

避難情報や平時の対策内容を
住民に発信していく

問 ①能登半島の地震災害から町職員の派遣も行ってきたが、我が町にも色々な教訓があっただろうがどう総括しているのか。

②町として防災計画の見直し点についてはどのような事項なのか。

③町の防災計画を今後どのように住民に説明していくのか。

能登半島の地震、災害では「災害用井戸」の整備遅れが大きく問題視されてきた。

町として各戸に残されている井戸の調査、把握をし、水質チェック

対策に生かしていきたい。

②地域防災計画では事前対策や予防計画、応急、復旧計画を定めているが検証を行いたい。

③地域防災計画は関係機関等の協力を得て総合的なものとしている。避難情報や平時の対策など随時広報誌や出前講座で住民に周知する。

答 ①町からは延べ19名の職員の派遣、支援を行った。被災地の現状や課題について資料をまとめ今後の防災



井戸

1 J A県下一本化 へ意見を

衰退につながらないように
意見を上げていく



原 孝文 議員

問 来年4月より、JAが県下一つに統合する。効率化と経営基盤強化が目的という。農家には、販売や仕入れの強化、販売やブランド力等で所得向上につながると思っている。しかし、管内9JAが統合して、農家にとって何かメリットがあるのか。

あったらどうか。ATMの撤去等による金融の不便さ、購買や機械整備の不便さ、営農指導の弱体化とデメリットばかりである。所得が増えた実感もない。今回の統合も、JAの利益優先をはかるもので、本町の農業、農家、住民に大きな損害を与えると予測する。町は、影響を最小限に抑えるため、意見を上げるべきでないか。

答 10年前の統合により、事務所の閉鎖や金融業務の縮小、購買、販売業務の短縮。営農指導の広域化など影響が出た。統合は、農家や組合員の利益が大前提と考える。今回の統合によっても、現在の施設や業務の運営継続をはかり、衰退につながらないように、JAに対して要望や意見を上げていきたい。

2 学校統合による給 食の方式はどう変 わるのか

3校で自校方式に、中津・美山
小学校を親子にする計画だ

問 親子方式の採用で、各学校の調理施設の改修や配送手段を整備して、まだ数年しか経過していない。

このように、それに合わせて調整したいと考えている。

学校統合は、その時点で検討していなかったとはいえ、多額の費用を要しただけに、統合後も可能な限りの活用をはかる必要がある。

学校統合が完了する令和8年度、最終的な形として、川辺西小学校と新設中学校は自校方式に、新設小学校は調理場を廃校となる旧丹生中学校におく変則的な自校方式としたい。

統合各小学校に対してそれぞれどういった形で対応するのか。今回の統合は規模が大きく、特に川辺地域への対応が心配される。また、新たな設備投資は発生しないのか。

美山小学校は中津小学校を調理場とした親子方式にと考えている。まだ案の状態であり統合推進委員会に図り決定したいと考えている。

答 学校統合は3ヶ年をかけて段階的に

その際、新設中学校は食数が増えることから、改修費用を予算化している。

3 船津メガソーラー 計画への町の認識 と姿勢は

不安はあるが、県が許可した開発だ



メガソーラー建設予定地（写真は坂本地内）

問 県は、5月末にこの開発を許可し、工事が始まった。3月議会でも質問したが、この開発には不可解な疑問に思ふ点が多々ある。許可に至る過程、業者の信用性、地権者や漁協との同意の有効

性、発電能力の半分以下での申請。雨水処理や100万㎡の盛土の災害リスク、伐採立木の処理等々、いずれも今まで聞いたことのない事例である。町との協議が終わっていないのに県は許可

した。もし、災害等が発生すればどこが責任をもつのか。

本当に真摯な協議が事業者とできているのか。工事中や完成後に問題が出てきても行政指導に従ってもらえるのか。

答 不安な部分はないとは言えないが、県条例に適合したものであり、その他必要な事項は文書で確認している。

もし何かあった場合、許可を出している県が責任をもつことになるだろう。町の部分は町が責任をもつ。それ以前に事業者がきちんと対応すべきことであると考えてる。

協議等における事業者の態度は、真摯とはいえないかと思うているが、約束事や、県や町から指導がある場合はきちんと守ってもらいたい。



堀江 才二 議員

1

温泉パスポートを作ってはどうか(70才以上の方に)

現行制度覆すことになり、現在のところ考えていない

問 ゲートボールやカラオケを楽しんでいる高齢者も多いが、温泉にゆつくりつかって体を休めるのも健康法であると思う。

ところが住民の中には住所、名前書くのが面倒である。また、体や手が震えて字の書きにくい人も温泉を利用している事が分かった。カードのようなものか、名札に写真をつける程度のもので作れないか尋ねる。

答 町内の温泉施設入浴料補助事業であるため、利用実績報告には入浴者名簿を添付することを補助要綱に規定している。入浴者本人が補助を受ける制度であり、これまでどおりの方法で補助事業を継続したいと考えている。

2

寒川地区のヘリポートについて

旧寒川中学校跡地を利用できないか検討している

問 キャンプ場予定地がヘリポートである

と聞いている。夏降雨で土砂崩れが起これば水没するかもしれない。冬は凍てついて県道まで上り下りができなくなる。

問 問題の多い場所である。少し手を加えれば県道端でつくれないものか。また、年に一度ぐらいヘリコプターを使った物資を運ぶ訓練ができないものか。

問題の多い場所である。少し手を加えれば県道端でつくれないものか。また、年に一度ぐらいヘリコプターを使った物資を運ぶ訓練ができないものか。

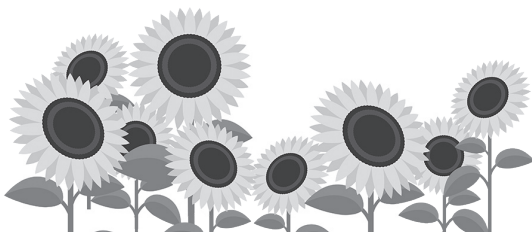
答 地域防災計画で

キャンプ場予定地を災害時のヘリコプター発着地と位置づけている。過去にドクターヘリが降りたこともあった。人命最優先であるので、旧寒川中学校跡地を利用できないか現在検討している。

ヘリコプターを使った訓練については、機会があれば防災ヘリを使った訓練など働きかけていきたい。



寒川キャンプ場予定地



令和6年度 町村議会議長会、副議長研修会へ出席



5月21日、町村議会議長・副議長研修会が、東京国際フォーラムで開催されました。三つのテーマで講演があり、

1. 議員のなり手不足は、「住民自治の危機」その打開の道を探る
2. ハラスメント 自治体議員が注意すべきポイント
3. 将来の地方議会を担うのは誰か？

について受講しました。全国的に地方議員のなり手不足が深刻な問題となっていることがわかる講演でした。



《山本 芳徳 委員長》



この度広報特別委員会委員長を務めさせて頂く事となりました。一期目でありますが議会の事をより知って頂ける様、6名で尽力して参ります。

さて、暑い日が続きます。水分補給は熱中症対策に欠かせませんが、ここ数年スポーツ飲料の飲

みすぎによる急性糖尿病「ペットボトル症候群」になる方が多いそうです。

私はスポーツ飲料を水で薄めています。決しておいしいとは言えませんが・・・

炎天下、猛暑の中、屋外での作業は非常に大変ですが、体調にはお気を

委員長 山本 芳徳
副委員長 山本 喜平
委員 山口 誠
委員 熊谷 重美
委員 山本 啓司
委員 吉本 賢次

つげください。

(山本 芳徳)

和佐小学校生が議場見学

7月4日に和佐小学校2年3年生10名が社会見学にられました。議場では実際の議席に座り議員気分を味わってもらいました。

この中から将来の町議会議員の誕生をお待ちしています。



町杯ゲートボール大会

議会チームも出場しました。健闘するも、0勝3敗。



議会チーム